

助産婦雑誌 第49巻 総目次

1995年1 - 12月

(表題は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集

[1月号] ゆらぐ「家族」

ゆらぐ「家族」：船橋恵子，1，9.

ゆらぐ母性，父性：春日キスヨ，1，16.

家族問題に対する政策と支援ネットワーク—国際家族
年の課題：山手 茂，1，22.

結婚モラトリアムの社会的意味—晩婚化と出生率低下
の社会学：坂本佳鶴恵，1，28.

障害者の家族をみる視点と支援のあり方について：坂
野純子，1，33.

生殖技術と家族—多様な「家族形成の意思」を援助す
る：斉藤有紀子，1，38.

[2月号] 救急搬送とケア

母子救急ケアの動向—これからの周産期医療システ
ム：多田 祐，2，9.

[搬送対象者へのアンケート調査から考える]

1. 大阪市立北市民病院でのディスカッション：橋本博
子，2，14.

2. 搬送を依頼する施設の立場からみる心理的看護の重
要性：住田典子・金田圭子・村田紋子，2，17.

3. 母体搬送妊産婦への心理的看護の重要性：徳田幸
江，2，24.

「母子分離」の看護：平山美子・西村淑恵，2，28.

病院における搬送判断基準：下川 浩・山口善行・広
瀬賢三・石川 哲・山田 薫，2，34.

産科診療所における搬送判断基準：武久 徹・嘉本和
江・千葉順子，2，40.

助産院における搬送判断基準：大谷タカコ，2，46.

分娩異常の減少とアクティブ・パースとの関係：鈴木
美哉子，2，50.

[3月号] 新しい時代を見すえた分娩実習

ACNM コア・コンペテンシーズの示唆するもの：松
本八重子，3，9.

分娩実習の課題と展望：毛利多恵子・堀内成子・木戸
ひとみ・加納尚美，3，16.

私の分娩介助実習のストラテジー—継続教育が助産婦
教育を完成させる：喜多淳子，3，23.

[座談会] 分娩実習まっ最中—分娩実習指導者と学生：
山田節子・山西かつえ・豊田裕美子・石川明子，3，
31.

臨床1年，臨床実習を考える—分娩実習で学んだこ
と：田口真弓，3，38.

学生とともに先輩開業助産婦の「術」を学ぶ：中本朋
子，3，42.

岡山労災病院における新人助産婦の現任教育：渡辺延
子・藤本政子，3，48.

[4月号] ルーチンの医療処置を見直す

わが国における産科処置の歴史：岡本喜代子，4，9.

[座談会] 助産婦としてルーチン処置を見直す：園生陽
子・田口貞子・中島桂子・村井文江・小竹久美子・
菅沼ひろ子・宮里和子，4，15.

[座談会] 医師としてルーチン処置を見直す：福井トシ
子・鮫島浩二・井上裕美・宗田哲夫，4，24.

手術と見なされる出産—医師が剃毛，浣腸，会陰切開
をする理由：マースデン・ワグナー/藤原美幸・訳，
4，31.

ルーチンには疑いの目を向けて：キャロライン・フリ
ント/戸田律子・訳，4，36.

岐路に立つ日本のマタニティケア：ドリス・ヘア/新野
由子，4，41.

マタニティ雑誌の出産時の医療処置の扱いは？：藤原
美幸，4，23.

[5月号] 出生前診断の倫理的問題を問う

出生前診断の最新知見と新たに生まれた難題：西野共
子，5，9.

出生前診断を受けた両親への看護：斉藤京子，5，17.

[看護の実際]

・出生前診断を受けた妊婦・家族への看護—一児の生存
を拒否した事例を通して：安積陽子・野尻雅子・小
森 牧・福島洋子，5，25.

・出生前診断を受けた妊婦への関わり—子宮内胎児死
亡に至った事例を通して：森 佳代，5，32.

看護実践の場にいる看護者が出生前診断について再考
しておくこと—今回報告された看護事例をもと
に：岡部恵子，5，42.

「バイオエシックス」で提起されている問題—「バイオエシックス」を学ぶ学生の活動を通して

- ・京都女子大学課外ゼミ学生の問題意識：宮崎 静，5，46.
- ・出生前診断をめぐる倫理的考察と課外ゼミ学生の勉強の環境：星野一正，4，50.

出生前診断における倫理的問題と親密圏：佐藤和夫，5，58.

[6月号]切迫早産長期入院妊婦の看護

長期入院を体験した妊婦が助産婦さんに望むこと：佐藤裕子，6，9.

[座談会]長期入院体験者は語る：志村由美・近藤和子・佐藤玲子・森理恵子，6，13.

切迫早産の最新知見一定義から治療まで：苅部正隆，6，21.

[切迫早産妊婦の初期—中期看護計画]

アセスメント・データベースの早期活用で効果的な看護を：細川喜美子・佐々木志麻・脇本由香子・末次正子，6，25.

データベースとスタンダードの活用：駒形美佳・佐藤由紀江・福井トシ子，6，31.

標準看護計画システムを自在に用いて的確な看護計画を作成：佐々木睦子，6，39.

[「安静度」とその看護]

スタンダード看護から個別看護の充実をめざす：平山恵美子・林 悦子・朽木恵子・丸山知子，6，44.

受け持ち制でより深い関係形成を：名取初美・雨宮博美，6，49.

安静臥床妊婦の快適な入院生活への援助：小野美砂子・沼田初代，6，53.

こまやかさと内容充実の看護の提供：平田玲子・小山厚子・鯨井貴典子・佐々木百合子，6，57.

切迫早産妊婦の基本的欲求，心理・社会的欲求を大切にしたい看護ケア：裏 和美，6，63.

ストレス解消に「げんき体操」を試みて：岩本 充・下山敬子，6，67.

[7月号]父親への保健指導とサポート

夫が「父親」になるためのサポート：二宮恒夫，7，9.

妻たちから夫たちへの要望：二宮恒夫・尾形美智子・出口洋江・石川由美・岡本佳子・苅山容子・栗山典子，7，15.

育児は父親も豊かにする—『父子手帳』のねらいどころ：汐見稔幸，7，22.

[座談会]ボクたちの父親論—父性・母性という言葉はじゃまだ：味沢道明・中津順・伊藤公雄，7，30.

倉敷中央病院の両親学級・立ち会い分娩の実際と夫の意識変化：小出晴美・荒木佳子・渡辺芳美・高橋美津子・浮田昌彦，7，36.

男の出産・育児本ガイド—父親も子どもにのめり込み，たい：松木玲子，7，48.

技術の習得に限りなし：武市洋美，7，80.

[8月号]性暴力被害と向き合う

女性への暴力と法的対応の現状：戒熊民江，8，9.

性暴力の被害者へのケア—アメリカにおける看護婦・助産婦のかかわり方：押尾祥子，8，15.

助産婦教育課程，看護教育課程で「性暴力」を上げる：加納尚美，8，21.

性暴力被害者へのカウンセリングの現場から：高桑茂，8，27.

強姦のない文化と社会をめざして—あなたは悪くない，松山容子，8，33.

性暴力被害の実情と援助の実際：阿部裕子，8，38.

[9月号]NST

NST(ノンストレステスト)の基本：村田雄二・土井茂治，9，9.

NSTの問題点と限界：武久 徹，9，17.

NSTの実施時期と対象：池ノ上 克，9，24.

NSTを受ける妊婦の看護：鈴木和枝・河野さおり・荒木純子・満田靖子，9，27.

NSTで異常結果が出たときの管理 武久 徹，9，30.

この記録をどう読み取りますか：武久 徹，9，36.

どのようにFHR記録を判定するか—FHR記録は正確に判定されているか：嘉本和枝・武久 徹，9，41.

[10月号]助産診断——共通概念の探究

助産診断の現状と課題：青木康子，10，9.

[座談会]それぞれの助産診断再点検：青木康子・竹内美恵子・藤沢洋子・三井政子，10，14.

「それぞれの助産診断再点検」の座談会に出席して：青木康子・竹内美恵子・藤沢洋子・三井政子，10，24.

助産診断—健康生活診断類型：青木康子・大河原シゲコ・山崎トヨ・吉永靖子，10，28.

助産診断導入—助産診断ハンドブック(試案)の作成をめざして：西浜佳子・若松真弓・伊藤茂理・前田富士子・松尾恵子，10，34.

[11月号]先輩たちの助産術

田口ハル先輩の骨盤位矯正術：岡野真紀代・石田美佳子，11，9.

川渕清子先輩の分娩機序に精通した分娩1・2期の助産技術：落合富美江，11，13.

古木孝子先輩のリラックス助産術：灘 久代，11，21.

“指に目がある”岸香子先輩の外回転術：田口貞子，11，28.

寺島トヨ先輩の外回転術：笠松愛子，11，33.

永沢寿美先輩の骨盤位と上手につきあう助産術：高橋小百合，11，39.

安藤はる江先輩の乳房ケア術とリラックス術：伊藤妙子・柳美穂子・中本朋子，11，46.

[インタビュー]マーズデン・ワーグナー博士に聞く—

女性たちのシンポジウムに真の安全性と自由をもとめて—医学を科学に近づける：本誌，11，53。
日本母乳の会主催「第4回母乳育児シンポジウム」報告：笠松堅実，11，59。

[12月号]性科学の水準——第12回世界性科学学会の業績から

第12回世界性科学学会の概要，12，9。
セクソロジーとはなにか：宮原 忍，12，12。
セクシュアリティと人間の絆—会長講演から：松本清一，12，20。
ヒューマン・セクシュアリティとはなにか：高村寿子，12，25。

[インタビュー]聞き手：本誌

1. [プラミール・セナナヤケ氏に聞く]古典的な避妊法から—日本はいまこそ扉を開いて，12，31。
 2. [ディナ・ラファエル氏に聞く]やさしさがテーマ—幼児期に性的虐待を受けた女性たちの癒し，12，34。
 3. [スーザン・プアマン氏に聞く]看護教育のなかのセクシュアリティ—自分の女性性に気づいて開かれるセクシュアリティへの理解，12，39。
- 中国におけるセクシュアリティ：胡 霞，12，43。
[第12回世界性科学学会に参加して]

1. 助産婦も性に関する看護問題に取り組もう：茅島江子，12，49。
2. 地球規模で考える：高倉のり子，12，51。
3. リプロダクティブ・ヘルスは助産婦の手で：後藤幸子，12，54。

特別寄稿

『Midwifery Today』カンファレンスで出会った刺激的な人々：新野由子，1，44。
どんな出産なら納得できるだろう—毛利種子さんの助産法から学んだこと(上)：吉村典子，1，50。
バングラデシュで桶谷式乳房治療手技を指導して：岩橋まり子・吉橋和子，2，56。
どんな出産なら納得できるだろう—毛利種子さんの助産法から学んだこと(下)：吉村典子，2，62。
英国の新しい助産システム“Team Midwifery”：鈴井江三子，3，56。
羊水穿刺を選択しなかったダウン症児の母親たち：玉井真理子，4，70。
第12回世界性科学学会開催に向けて—1995年8月12日～16日：松本清一，4，74。
世界のエイズの将来流行に関する一知見：大森絹子，5，64。
新しい家庭に迎えられる赤ちゃんたち—「環の会」の活動紹介：横田和子・星野寛美，6，71。
リプロダクティブ・ライツ/ヘルスをめぐって：船橋邦子，7，55。
助産婦業務関連法規解説—この1～2年の改正の動きを受けて：岩澤和子，8，63。

長期入院体験をした助産婦からの具体的提言：三村春美，8，72。
家庭分娩介助体験で分娩の原点に触れる：朝比奈順子，9，56。
「産後ケア事業」に関心を!!：宮崎文子・岡本喜代子，9，62。
国際ウォーターバース会議参加記—勇気と努力によって産む知恵を再発掘：戸田律子，10，63。
第4回北京女性会議レポート—女性たちのエンパワメント：政府間会議とNGOフォーラム：中山まき子，12，56。

特別記事

みんながそれぞれ出産について考えた一日—11/03「いいお産の日」レポート：河合 蘭・宮崎雅子，1，58。
[新春対談]生まれる話，死ぬ話：釘村千夜子・高柳和江，1，64。

[インタビュー]厚生省児童家庭局母子保健課岩澤和子専門官に聞く：本誌，2，69。

自然出産とは何か—5人のおさんを自宅出産した橋本知亜季さんに聞く：(聞き手)藤原美幸，3，64。
自由な体位・はじめの第一歩!—助産婦はいかにして産婦を起こしたか：河合 蘭，3，72。

[阪神大地震体験記]

1. 大地震のさなかの分娩介助体験：高橋国子・吉田美穂・吉永加代子・脇本和美，4，50。
2. 文明の恩恵を失ったが，多くの大切なものを得た：松本有香子，4，56。
3. 再びネットワークづくりをめざして：小森香織，4，61。

平成7年母子保健関係予算の概要：為石摩利夫，4，66。
“赤ちゃんにやさしい病院”からの実践報告—母乳育児にとことんこだわる!：山田恒世・石井廣重，5，70。
神戸の避難所で「トイレ」に奮闘した小野清美さんに聞く：藤原美幸，7，61。

国際助産婦の日 in 東京—助産婦，街にでる：河合蘭，8，46。

神戸で開催しました!「国際助産婦の日」：小森香織，8，50。

「フムフム」のスタートと「国際助産婦の日」：大牟田智子，8，57。

英国における「助産業務の質の保証(QA)」—高橋浩美さんによる特別講義 松岡 恵，9，48。

第4回ICMアジア太平洋地域会議開催：本誌，10，47。

第4回ICMアジア太平洋地域会議を終えて—松本八重子実行委員長に聞く：本誌，10，50。

次々回ICM大会開催国フィリピンからの歓迎の辞，10，57。

第4回ICMアジア太平洋地域会議参加記—真の協力和協調を：川田泰代，10，58。

研究・調査・報告

- 乳房トラブル(乳頭乳輪部浮腫)予防のための改良哺乳帯の作成と有効性の検討：廣瀬ミエ子・中島美恵子・小森尚子，2，73。
- 高齢初産婦における産科異常の調査：浜松加寸子・稲葉洋子，6，77。
- 分娩に立ち会うことに積極的でなかった夫への援助を繰り返す：中畑ヒロ子，7，73。
- 10代の出産者への退院指導—家庭訪問を通しての指導のありかたを繰り返す：山崎加代・渋谷実千代・後藤真理子・本多やよい・遠藤泰子・原田由美子・小塚みき・加藤加津子・長沢美香・石井奈穂子，8，82。
- 助産婦学生の保健指導に対するとらえ方の変化—5年間のイメージ調査から：大槻静子・早坂祥子・高橋清子・高林俊文，9，79。
- 成熟新生児の出生直後の体温管理—鼓膜型深部体温計(Fテンプ)を使用して：田辺圭子・西尾直子・堺武夫，10，79。
- 産婦の感じる「満足な分娩」を考える—「ふりかえり」を通して：志水美和・李 節子，12，79。

とらうべ

- 21世紀と女性：北村勝秀，1，5。
- 一人ひとりが自立する支援を：平野朝久，2，5。
- ヘルパー養成の仕事に携わって：吉川幸子，3，5。
- 「出生証明書」に助産婦が署名することから：佐々木百合子，4，5。
- 「お母さん」て誰のこと？：小竹久美子，5，5。
- 家族ってなに？：石井美雄，6，5。
- 惜しめない言葉：酒井郁子，7，5。
- 1時間強迫症候群：番内和枝，8，5。
- 立ち会い人のまなざし：巖岩ナオミ，9，5。
- サンパ(産婆)のリズムでラテンな部屋へ：三宅はつえ，10，5。
- ユニセフと助産婦さん：和気邦夫，11，5。
- 「あと30gだったのにねえ」：加藤さよ子，12，5。

シリーズお産人探訪

- 母子健康センターを新装した村と助産婦たち—岐阜県加茂郡東白川村：河合 蘭，9，72。

今月の話題

- 1月1日から出生証明書・死産証書・死亡診断書の書式が新しくなりました：加藤誠実，1，77。
- 日本助産婦会勤務助産婦部会研修会報告—テーマは「勤務助産婦—変革に挑戦」：福井トシ子，5，77。
- 私たちが「シーラおばさんの妊娠と出産の本」を訳した理由(わけ)：戸田律子・岡本千草・菅沼ひろ子，5，80。
- 「ミットワイフリ・トゥデイ」カンファレンス参加記：

関岡由美子，7，67。

日本看護協会総会・助産婦職能集会に初めて参加して—すみずみにまでスムーズな情報伝達を望む：川原初恵，8，79。

写真展「臨月」と出産トーク&トーク開催：石井美雄・赤松彰子，10，74。

骨髄バンクへ登録しませんか：三宅はつえ，12，76。

りれー随筆

- ゼミ生とともに：日隈ふみ子，1，82。
- ババザに寄せるユーゴスラビアへの思い：森みね子，2，78。
- 垣間見たチベット医療：桜井幸子，3，82。
- 出会い：武田一子，4，80。
- 「誕生」の片隅から：澤村節子，5，86。
- 生涯を地域の人々と共に：中北常子，6，84。
- 技術の習得に限りなし：武市洋美，7，80。
- 女性もいいもの!?：田中みどり，8，86。
- 思い出とともに：大槻イマ子，9，86。
- 新々人類の登場!?：貴家和田江，10，82。
- 私も成長途上人：平田友子，11，76。
- 助産婦として，母として：岸本長代，12，88。

クローズ・アップ

- お産が変わる。11/03「いいお産の日」のしかけ人，きくちさかえ・河合蘭・戸田律子さん，1，1。
- 厚生省母子保健課に初の助産婦の専門官誕生，岩澤和子さん，2，1。
- 生も死も宇宙の営み。5人のお子さんを自宅出産した橋本知亜季さん，3，1。
- 兵庫県南部地震直後，新しい命の誕生を守った，関西労災病院助産婦の皆さん，4，1。
- ユニセフ/WHO から「赤ちゃんにやさしい病院」に認定された，石井第一産科・婦人科クリニックの皆さん，5，1。
- オープンな養子縁組ネットワーク「環の会」運営委員，横田和子，星野寛美さん，6，1。
- 阪神大震災で「トイレ」の支援活動に取り組んだ，小野清美さん，7，1。
- 福岡でもやりました！「国際助産婦の日」を開催したFM²の皆さん，8，1。
- “健康な村”東白川村(岐阜県加茂郡)が選んだお産の形，東白川村母子健康センター，9，1。
- 17か国の助産婦が女性と子どものヘルスケアと討議 第4回ICMアジア太平洋地域会議開かる，10，1。
- 来日した「WHO 出産科学技術についての勧告」のまとめ役，マーズデン・ワグナー博士，11，1。
- セクシュアリティの学際的研究を推進，第12回世界性科学学会を開催した人々，12，1。
- おニューな地球人：きくちさかえ
- お産ハッピー NEW YEAR，1，4。

ずっと昔とずっと先, 2, 4.
誕生のスペシャルな環境, 3, 4.
平和と愛と幸せについて, 4, 4.
核に一番近い楽園, 5, 4.
たくさんの愛とたくさんの子ども, 6, 4.
無垢だったあの頃, 7, 4.
陰から陽へ爆発するお産という醍醐味, 8, 4.
祖母, 母, 娘へ, つながる鎖, 9, 4.
とてもゴージャスなヤシの木の下の子守, 10, 4.
フラの子, 11, 4.
OH! MY DADDY!, 12, 4.

ニュース・プラス・ワン：根本悦子

指針のない日本の先端医療, 研究者まかせでいいのか?, 1, 6.
生前給付保健が爆発的に売れている理由は?, 2, 6.
まだまだ問題がある国籍法, 3, 6.
日本に根づくのかボランティア活動, 4, 6.
オランダの安楽死番組を見て, 5, 6.
遺伝子治療承認で気になること, 6, 6.
高齢化対応に向けて医療保健制度の抜本的見直し, 7, 6.
夫の暴力にも公的な対応を, 8, 6.
雇用均等法 10 年, 改正を求める動き, 9, 6.
エスカレートする体外受精の試み, 10, 6.
中絶・避妊・ピル解禁, 11, 6.
HIV 訴訟, 全員救済へようやく動きだす, 12, 6.

Medical Scope：島田信宏

Sonoembryology, 1, 85.
大きいアクセレレーションと小さいアクセレレーション, 2, 85.
基線細変動が持つ意味, 3, 87.
生殖免疫学の進歩, 4, 83.
脳性麻痺と周産期の障害, 5, 91.
早産児の IVH と PVL, 6, 87.
出生前発症の PVL(脳白室軟化), 7, 83.
胎児・新生児の脳内血流低下のとき, 8, 89.
胎児神経学の登場, 9, 89.
ダウン症候群胎児の妊娠初期スクリーニング, 10, 85.
子癇発作とニトログリセリン, 11, 79.
HELLP 症候群の原因, 12, 91.

トピックス

「お父さんも主人公」が発行されました, 7, 29.
日本助産学会が学術講演会とシンポジウムを開催, 11, 52.
『性科学・性教育の本』刊行さる, 11, 64.

高橋小百合さんの出産ドキュメントビデオ『生まれておいで』完成, 11, 64.

新刊紹介

『21 世紀家族へ—家族の戦後体制の見かた・超えかた』, 1, 21.
『看護カウンセリング』: 南沢汎美, 3, 84.
『つくられる生殖神話生殖技術・家族・生命』, 3, 84.
『プライマル・ヘルス』健康の起源—お産にかかわるすべての人へ, 7, 72.
『産婦人科ベッドサイドマニュアル』: 福井トシ子, 8, 44.
『更年期を生き生きと』, 8, 45.
『まるごとお産』『いいお産がしたい』『お産はつけよう』, 9, 47.

ケース・レポート

左乳房は母乳分泌抑制, 右乳房は促進の看護実践報告: 大林律子・佐藤朱美・阿部時子・友井康子, 1, 71.
重症妊娠悪阻患者の看護: 長澤弥生・鈴木式子・奈良紀紘, 11, 71.

読者談話室

異世代間のギャップを埋める場を—地域活動を 1 年振り返っての提言: 工藤恭子, 1, 87.
家族学級の普及を願う: 佐藤裕子, 4, 84.

私と読書

現代文明を人間本性の欲望との関係で分析—『生命観を問いなおす—エコロジーから脳死まで』を読んで: 萩原なつ子, 2, 80.
自然を, 愛を教えてくれる赤ちゃんに接しられる私たちは幸せ—『子宮の夢・宇宙の夢赤ちゃんが教えてくれた』を読んで: 小松由枝, 5, 88.
資料: WHO 出産科学技術についての勧告, 11, 58.

シリーズ仲間と語ろう

医師と助産婦の共働がうまくいっていること: 井上裕美・星野妙子, 11, 65.
岐阜県益田郡の助産婦の意見: 田口貞子・野村末子・前野寿子・老田 桂・大沼れい子・森みね子, 12, 61.

私の分娩体験記

オランダのお産, ひととおり体験記: 小出久美, 12, 68.